

# 2024年度 まめどくれっしゅ 事業計画書

## 1. 基本方針

- ・社会福祉法人どろんこ会の理念「にんげん力。育てます。」
  - ・子育て目標「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」
1. 主体的・対話的な深い学びを目指す。子どもが今日、経験したことを他者とかかわりを深める中で、自己選択、自己決定できる環境の中、自由に気持ちを表現し、それを受けてもらう関係から、人と関わる力、自分の生活をつくりだす力、未来を創造する力を育てていく。
  2. 子どもが身近な環境に興味や関心を持って積極的にかかわり、心動く経験をたくさん持ち、「試行錯誤」(トライアル・アンド・エラー)を繰り返して、生活を意味あるものとして捉えることができるように保育を展開していく。

### 【まめどくれっしゅ 園目標】

- 「明るく元気な子」「やさしく思いやりのある子」「考えて工夫する子」
- ① よく食べ、よく眠り、よく遊ぶ子
  - ② 自分の考えや相手にも思いや考えがあることに気づく
  - ③ 感じたり、考えたりしたことをいろいろな方法で表現する子

### 【どろんこ会グループが目指す子どもの姿】

1. 生活力の体得
2. 10の姿の体得
3. 子ども自らがいつでも経験の選択をすることができる物的環境の設定
4. 鶏を絞めて食す。命をいただく活動の実践
5. 自律運営

## 〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	法人の理念や法人の目標から落とし込まれた保育目標に向かって全スタッフが、計画的・数量的・体系的な行動計画をもち、実践する。
	実践予定内容	園や個人の課題に基づいた園内研修(園長大学・保育士大学講座)を軸に保育者として専門性を高めるべく自己研鑽を図り「目指す子どもの姿」「園目標」に敵った行動になっているか、検証し理解していく。
2	計画・ねらい	子ども主体の保育を確立させる。活動を選択し、自分で考えて行動する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者は子どもの行動を一步下がって見守る。</li> <li>・子どもの興味を探り、興味に合った環境を用意する。</li> <li>・子どもたちの遊びが発展するような「しかけ」を考え、提供していく。</li> <li>・子ども同士の関わりの中で、子ども自身でPDCAを考えられるようにサポートする。</li> <li>・火と関わる、水と関わる、土と関わる、焚き火保育</li> </ul>
3	計画・ねらい	生死を知る
	実践予定内容	鶏・生き物の世話、生死教育、食材と食の循環を知る、性教育

## 〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

大切な子どもを預ける不安や戸惑いを理解し、体や心の小さな変化を共有し、保護者が安心して子どもを預けられるようにサポートしていく。

また、日常保育の様子を可視化・共有をもとに、保護者とのつながりを大切にし、子育ての楽しさを実感してもらい、子どもの成長の喜びを分かち合う。

1	計画・ねらい	園での子どもの姿や成長の様子を共有していく
	実践予定内容	タイムラインやドキュメンテーションを使い、活動の可視化を図る。保護者にわかりやすく、口頭では伝えきれない子どもの様子を知らせる。
2	計画・ねらい	保護者と連携して子どもの成長をサポートしていく
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者とともに子どもの成長の喜びを共有し、一人ひとりの保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係を配慮していく。そうしたなかで子どもの安心と安全を支える関りを構築していく。</li> <li>子どもの保育の密接な関連の中で、子どもの送迎時の対応だけでなく、保護者の希望に応じて子育てについての悩みや相談を、保護者に寄り添いながら相互理解を図るように努める。</li> </ul>

## 〈3〉 地域の子育て支援事業

地域に開かれた子育て支援を実現し、一時保育や子育て支援室チキンエッグを拠点とした支援活動を行う。また、近隣の系列園である大豆戸どろんこ保育園と協力し合い、子育てに悩む地域の方々の心の拠り所となるような場所を目指す。

1	計画・ねらい	地域に開放的な園を目指す
	実践予定内容	子育て支援活動「ちきんえっぐ」の活動を知ってもらい、気軽に立ち寄りやすい雰囲気作りに努める。活動は、保育の専門性を生かした子育て支援を積極的に行っていく。また、いらしていただいた子どもの状況を配慮し、柔軟に活動を展開できるようにしていく。
2	計画・ねらい	子育て家庭との交流の場の提供と交流を促進する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の保育園や商店街、施設との交流を深めながら、地域に根付いた保育園を目指す。</li> <li>様々な方が園に集まることで、子育てのコミュニティを広げていける場の提供と促進に努める。</li> </ul>
3	計画・ねらい	子育て等に関する相談や援助の実施
	実践予定内容	いつでも相談できる子育ての拠点となることで、地域の人々をつなぐ保育園を目指していく。

## 〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

保育所・保育指針の保育のねらいは、子どもの「資質・能力」を育むこと、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が示されている。子どもの育ちや学びが小学校以降も継続されていることを見据えて保育をする。唱されているのが、アクティブ・ラーニング「主体的・対話的な深い学び」である。「主体的」とは、自分から進んでやること、同時に自分がやろうとすることに見通しをもって振り返ること、「対話的」とは、自分の考えや感じたことを他の人と伝えあうこと、伝えあったうえで自分の考えに他の人の考えを取り入れて、自分もまた考えていくことである。「深い学び」は「なぜ」や「本当にそうなのか」と普遍的な考えさえも子どもや保育の中では、考えていくことが求めら

れている。すなわち保育者は、知識を積み上げることと同時に、答えの出ない問いに自分なりの考えをもち、意見を主張できる場所を持って同時に、私は、みんなの中の一人と周りに目を向けて、共に生きようとする心を併せ持った、一人の主体として育てていくことが大切である。

1	計画・ねらい	園内研修、外部研修、スキル講座への参加をする
	実践予定内容	・研修予定や内容を掲示し、参加意欲を高めていく。 ・昼礼や園会議などで研修報告を行い、職員間への内容共有を行う。
2	計画・ねらい	「報連相」の徹底したチーム保育づくり
	実践予定内容	「報告・連絡・相談」を徹底し、一人ひとりが考え、職員同士で話し合う機会を持ち、子どもや保育の話だけでなく、常にコミュニケーションを取ることを大切に、個々の能力を活かした保育ができるようにしていく。また、保育者自身の弱点を補い合い進めていく、保育ができるよう努めていく。
3	計画・ねらい	「同僚性」の創出
	実践予定内容	職員同士が、保育のプロとして自覚を持ち、尊重し合いながら、連携協力して保育を展開していく。そのためには、職員同士が忌憚なく話し合い、コミュニケーションを取り合う中で相互理解を進め、資質向上につなげていく。

#### 〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	食材、食の循環を学び環境に対して興味を持つ
	実践予定内容	畑を耕し、土を作り、種まき、水やり、収穫する。食材の加工、生き物の世話を日課とし、命の大切さを学ぶ。
2	計画・ねらい	給食残渣を減らす
	実践予定内容	給食残渣を減らすため、コンポストを利用して堆肥を作り再利用する。「もったいない」という気持ちを育て、環境意識を高めていく。

#### 〈6〉子どもの人権（施設長が力を入れて取り組みたい内容）

1	計画・ねらい	子どもは大人と同等であり平等である。
	実践予定内容	乳幼児は「活動を通して発達に必要な経験を積み上げていく」時期であり、そうした発達の特性に応じているが故に、乳幼児期の保育は遊びや生活といった具体的な「活動」を中心にされています。活動を通じて子どもたちはさまざまな力を育み、「人権力」も遊びや生活の中で育てていく。
2	計画・ねらい	国際教育
	実践予定内容	違いを学び、違いを楽しむ。世界を学び、日本を知る。日本以外の国や文化に目を向けることで、見た目も習慣も価値観も異なる人たちの存在に気づき、多様性を自然に受け入れられる土壌を作っていく。また、世界について学ぶことで、日本を知る機会を作っていく。

#### 〈7〉子どもの安心感を支えるチームの構築

1	計画・ねらい	一人ひとりの安心感の醸成をする
	実践予定内容	子どもたちを集団としてとらえるだけではなく、子どもの豊かな受動を受

		け取り、その芽吹く瞬間をしっかりキャッチし、丁寧に応答的なやりとりをしていく。
2	計画・ねらい	子どもの理解、見る目を養う
	実践予定内容	主体的、自発的に遊ぶ子どもの姿をどのようにとらえるのか、保育者間の語り合いを大切に考えていく。保育者同士がお互いの保育観を知り、子どもの姿を肯定的に捉える目を養っていく。それを持って、保育者自身が保育に対して、主体的に取り組んでいく姿勢を持つ。
3	計画・ねらい	チームで協力体制を築く
	実践予定内容	個々の個別計画をどのように実践するのか、ねらいや価値を職員全体で共有し、チームで協力して子どもが安心して過ごせるように支えていく。

## 2. 施設運営

### 〈1〉 施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
3人	8人	10人	11人	11人	11人	11人

### 〈2〉 開所時間

7時00分～20時00分

### 〈3〉 スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	10人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	2人
パート スタッフ	保育士	2人	補助	2人	調理	1人	事務	0人
	用務	0人	嘱託医	2名				

## 3. 運営方針

### 〈1〉 施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容

園会議	月1回   20分	園内研修、活動振り返り、コンピテンシー考察、品質マニュアル記載、安全・危機管理研修
給食運営会議	月1回	アレルギー確認、クラス給食状況、給食会議報告
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・事故記録簿の振り返り、傾向と対策
ケース会議	月1回	支援計画の立案、修正、気になる子どもの情報提供とサポートの仕方の共有、他機関への連携報告
フロア会議	週1回	フロアごとの保育計画の振り返り
昼礼	週1回	事務連絡、子どもの様子の共有
リーダー会議	月1回	現場の課題の抽出、業務改善や標準化の検討

## 〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	法人全体の課題・連絡
施設長勉強会	月1回	保育の質向上に向けての講習
食育会議	年4回	食育計画の立案、献立内容の改善、提案マニュアルの見直し、アレルギーについて
保健会議	年4回	感染症対策やガイドラインの作成、保健計画作成、提案マニュアルの見直し、園児の健康管理
主任会議	年6回	運営・マネジメントにかかる研修
子育ての質を上げる会議	月1回	保育の質の向上を高める研修、保育内容について

## 〈3〉各種系の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	子ども及び保育者の健康保持のために、施設内外の保健的環境の維持向上、衛生管理
安全対策係	施設内外の施設および消防設備点検、避難経路の確保と点検
防火管理者	防災を想定した訓練計画や消防設備点検、避難経路の確保と点検
食品衛生責任者	給食衛生管理マニュアルに基づいた対応
畑係	年間を通じた計画案の作成と実施、畑の管理

生き物係	命の尊さや自然現象への関心の幅を広げる機会を設定
------	--------------------------

#### 〈4〉行事別系の設置

係名	職務内容・役割
どろんこまつり係	どろんこまつりの企画、運営
運動会、生活発表会係	運動会、生活発表会系の計画・企画
子育て支援担当	子育て支援事業の計画・実行

## 4. 保育方針

### 〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生理的欲求を満たし、情緒の安定を図る。</li> <li>・歩行の確立、言葉の獲得により盛んになる探索活動が十分にできるようにし、友だちとの関わりの芽生えを促していく。</li> </ul>
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な大人との安定した関係の中で、一人遊びを十分に楽しみながら自我が芽生える。</li> <li>・多くの経験をする中で感性を豊かにし、感じたことを少しずつ言葉で伝える場を大事にする。</li> </ul>
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活や遊びの中で、基本的な生活習慣や運動、身体の使い方が身につく。</li> <li>・興味関心を持ったことに主体的に取り組み、最後まで遊びこみ、充実感を得る。</li> <li>・異年齢での関わりの中で、自分の気持ちを言葉や行動で表現する</li> </ul>
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢での関わりの中で、相手の気持ちを理解しながら協力して課題に取り組み、自分たちでルールを決めるなどして、解決することができるようになる。</li> <li>・様々な体験を通し五感が刺激され、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う。</li> </ul>
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、希望する保護者に対し実施</li> <li>・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用</li> </ul>
意見・要望への対応	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用</li> </ul>

運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定
-------	-----	-------------

## 〈2〉年間行事計画

- ・2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

## 〈3〉給食・食育運営方針

どろんこ会の3大食育方針（（1）調理員・保育士・施設長はこどもと一緒に食べる（2）噛む力を育て素材の味を味わえる状態で提供する（3）子どもが自分たちで盛り・配膳して食べる）を基本として、施設長自身が自園において子どもの食欲と意欲を育てる

1	計画・ねらい	噛む力を養い、素材を味わう
	実践予定内容	乳児期に欠かせない栄養バランスに配慮し、噛む力を育てられるように食材の大きさを調節、素材を味わい、季節感を感じられる献立を提供する。
2	計画・ねらい	食育活動を行う
	実践予定内容	自分たちで選び、畑で野菜を栽培することで、成長の変化や旬の食材に気づき、食に興味を持つ。 また、クッキングでは、自分たちが育てた野菜を使い、素材が様々な食べ物に変化する姿を見ることで、食に興味を持つ。
3	計画・ねらい	バイキングや食事のマナーを知る
	実践予定内容	自分が食べられる量や時間を知り、自分たちで決めていくことができるように配慮し、食べる意欲を育てていく。また、挨拶や食事のマナー、食具の正しい使い方を知らせ、身につけていく。

## 〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年2回（6月・11月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	うがい・手洗い指導、歯磨き指導、生活リズムを整える、体のしくみを知る、自分の身体の成長を知る等。
流行が予測される感染症	通年…新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 7, 8月頃…ヘルパンギーナ、プール熱(咽頭結膜熱) 10月, 12月…RSウイルス感染症 12月～2月…インフルエンザ、感染性胃腸炎、

	12月～7月…溶連菌感染症
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ…3名より預かり済み／園内にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日、現在18名が、研修受講し、修得済み
その他保健に関する取組	保育園感染症サーベランス登録 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

### 〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	フロン点検(簡易)	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年2回／6・11月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間



	利用者アンケート調査	年1回
--	------------	-----

## 〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	子どもの「やりたい」を尊重し、発達や興味・関心に合わせた環境を作ると共に、安心して過ごせ環境作りを行う。
	実践予定内容	どの子どもにも「やってあげる」保育ではなく、それぞれの発達段階や興味関心があることを見据えながら環境構成を行い、子ども自身の育ち、自立を「見守る」保育環境を整えていく。
2	計画・ねらい	自然に触れて感動する体験や命の大切さを感じる環境づくり
	実践予定内容	自然には、草花や虫、哺乳類など命あるものと水や土、石、風など命のないものがある。そうした環境に触れて親しむなかで、自然の素晴らしさやおもしろさに感動し、心動かす体験をしていく。

## 〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

### 手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	ターザンロープ	園庭	毎月1回
2	タイヤ遊具	園庭	毎月1回
3	鶏小屋	園庭	毎月1回
4	泥場	園庭	2か月に1回
5	靴入れ	2階縁側	毎月1回

## 5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	消防計画に基づき自衛消防隊を編成し、避難訓練を毎月15日に行う。危機管理マニュアルに則り、災害発生時には対応フローチャートに従う。年2回通報訓練と保護者と連携した児童引き取り訓練を行い、非常時はアプリを利用し、園児の安否情報を発信する通知訓練も行う。
2	実践予定内容	危機管理マニュアルに則り、ケガ発生時には対応フローチャートに従う。事故防止委員会を毎月1回行い、ケガや事故の共有、検証、再発防止策を共有する。また同グループ内でも共有し、事故防止策を探る。園内外のハザードの見直しを定期的に行い、ハザードマップの作成・共有をする。
3	実践予定内容	危機管理マニュアルに則り、不審者侵入時には対応フローチャートに従う。年2回不審者侵入訓練を実施する。
4	実践予定内容	光化学スモッグが発生しやすい状況を把握し、発令があった場合は速やかに対応、室内で過ごし健康状態の確認を行う。

5	実践予定内容	インシデント・ヒヤリハット報告書を活用し、事故防止委員会で検証を十分に行うことで事故を未然に防ぐ。
---	--------	---



## 6. 実習生・中高生の受入

### 〈1〉今年度方針・テーマ

次世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成するため、実習生・研修生を積極的に受け入れる。受け入れることで、保育士自身が自らの保育を振り返り、指導する力を身に着ける良い機会にもつながる。

受け入れる際には、全スタッフで暖かく迎え入れることができるようにし、不安なく過ごせるようにする。

1	実践予定内容	小中学校の保育園見学・職業体験などを積極的に受け入れ、見学期間だけにとどまらず、地域のつながりとして交流をしていけるようにする。
2	実践予定内容	大学・専門学校の依頼による、保育実習の積極的な受け入れと、実習生一人ひとりに合わせた温かい受け入れ体制を整え、職員全体でコミュニケーションをとり育成をしていく。

新人研修	新人社員研修	スタッフ研修
<ul style="list-style-type: none"> <li>■入社時オリエンテーション</li> <li>■現場OJT研修</li> <li>■保育品質マニュアル研修 (事務研修・ケガケーススタディ研修含む)</li> <li>■コンピテンシー研修</li> </ul> <p>保育スキル研修</p>  <p>←お迎え 対応研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新人社員研修 → 会場研修 → 系列園保育実地研修</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全社員研修 (年1回)</li> <li>■園内研修 (月1回以上)</li> <li>■保育スキル研修 (エリア別)</li> <li>■リーダー養成研修 (9~2月)</li> <li>■業務改善研修 (月1回) (=保育の質を上げる会議)</li> <li>■施設長勉強会 (月1回)</li> <li>■デンマークインターンシップ (年1回)</li> <li>■コンピテンシー自己採点 (月1回)</li> <li>■人権チェック (4月・10月)</li> <li>■外部研修</li> <li>■上級救命救急資格取得講習</li> </ul> <p>←避難訓練研修</p>

## 7. スタッフ育成と研修計画

### 〈1〉2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月26日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園外保育のリスクマネジメント ③ 虐待防止研修	・ 散歩時の人数確認等の基本事項を確認し、ロールプレイングを通して体得していく。 ・ 具体的な事故・けがの予防方法
5月24日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点	子どもの人権を学び、自分たちの園

		② 子どもの人権について	の子どもの権利について考える
6月28日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 水遊びのリスクマネジメント	・水遊びマニュアルの確認、ロールプレイングを通して学ぶ ・AEDの使い方、心肺蘇生講習
7月26日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育所保育指針 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」	保育所保育指針「幼児の終わりまでに育ってほしい姿」に現在の子どもの姿を照らし合わせて考える。
8月23日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 就学に向けたスムーズな接続について	カリキュラムの作成における共通理解
9月27日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② アサーティブな伝え方を身につける	相手を尊重しその場にふさわしい形での表現方法を知る。ロールプレイングを行う。ハザードマップ見直し
10月25日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② ポートフォリオについて ③ 虐待防止研修	ポートフォリオを学びあえる作成方法についての研修を行い、理解を深める
11月29日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 事例研究	スタッフが作成したポートフォリオから事例の研究を行い、子どもの理解を深める
12月20日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 事例研究	前月に引き続きスタッフが作成したポートフォリオから事例の研究を行い、子どもの理解を深める
1月24日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 今年度の振り返り	今年度を振り返り、アクションプランを立てる
2月3週目	18:00~21:00	① コンピテンシー自己採点 ② 次年度事業計画発表	・事業計画を理解し、次年度の目標を決定する ・次年度の全体的計画と年間指導計画の作成
3月2日	18:00~20:00	次年度行事計画策定	・プロポーザルを基に子どもたちに経験させたい行事を決定する。 ・農業計画

## 〈2〉 外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

### 〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デンマークインターソップ®	希望するスタッフが応募											

### 〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

### 〈5〉園独自の育成計画

- ・社会人としての基本マナーの学習、所作や実践を身につける研修を行う(コンピテンシーの活用と実践に繋がるスキルなど)
- ・子どもの発達の理解や年齢別の保育に係る学習を行う(写真の活用、ドキュメンテーション作成)
- ・子どもの人権について学習を行う。

## 8. 地域交流計画

### 〈1〉今年度方針・テーマ

地域に開かれた保育園を目指す。保育士からの日常的なあいさつや近隣の公園での保護者との関わり、他保育園や小学校との情報交換・連携を継続し、地域の方との交流や情報共有を行っていく。

### 〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：大曾根第二公園にて

商店街ツアー	週1回
世代間交流	高齢者施設の訪問やイベントへの参加をし、公共の場での触れ合いや関わりを持っていく
異年齢交流	幼保小の連携の中での小学校との連携、中学生による園訪問の地域ボランティア活動、近隣保育園との交流、保育士養成校の学生との交流を年間通して行っていく。
地域拠点活動	子育て支援事業「ちきんえっぐ」、園庭開放、青空保育、地域イベントへの参加を行う
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

## 9. 小学校との連携の計画

### 〈1〉今年度方針・テーマ

以下計画について、小学校と相談・協議を近隣小学校と4月より開始する。

「5歳児と1年生の年間連携計画」を作成。学校行事や授業参観等を通して、「職員間交流」と「子ども間交流」の両方を取り入れていく。

### 〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を4月8日（月）より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
6月頃	港北地区幼小教育交流会 園長・校長会 (菊名小学校、師岡小学校)	1名予定	小学校を軸に近隣園 と情報共有及び連携 計画	職員間交流
10月	菊名小学校	2名予定	運動会見学	職員間交流
11月頃	菊名小学校	1名予定	授業参観、授業研究会	職員間交流
2月頃	菊名小学校 1年	11名予定	(当園幼児保育室)	子ども間交流
1月頃	太尾小学校 1年	11名予定	校内でのあそび(太 尾小教室)	子ども間交流

## 10. 要支援児計画

### 〈1〉 個別支援計画の作成・見直し

子どもの発達や状況を理解し、ケース会議の中で共有・振り返りを行い、週案・月案の作成時や個々の変化・成長に合わせて、その都度見直しを行っていく。

### 〈2〉 毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：5名予定)

- ・園会議、昼礼、フロア会議などを利用し、個々の様子を共有しながら理解を深めていく。
- ・配慮の必要な子だけでなく、気なる子や成長・発達の過程で配慮を必要とする子についても共有し、一人ひとりに合わせた対応へつなげていく。

### 〈3〉 進級引継、および、小学校への引継

- ・進学する小学校や必要に応じて、関連機関と連携しながら、児童要録・面談や電話での詳細伝達を行う。
- ・進級児は、職員間で情報を共有する。

## 11. 子育て支援事業

園に來訪した親子に都度署名をもらい、月間延來場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	毎週(水) 10:00～12:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎週(金) 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：大曾根第二公園にて開催

## 12. 園運営の向上

### 〈1〉 福祉サービス第三者評価の受審

開園3年目と以降5年に1回受審。第三者評価を受けることにより質の向上を図る。

(2016年1月・2020年12月受審)

本年は、受審予定なし

## 〈2〉園による自己評価の実施

2024年3月1日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：13時00分

自己評価終了予定時刻：13時30分

自己評価実施予定者：施設長、主任、職員全員

## 〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

## 1.3.3 3カ年計画の具体化

### 〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由に行き来する『大きなうち』の中で、子どもの好奇心が満たされる物的環境、人的環境の充実を図る。</li> <li>日課を通しての子どもの成長発達を促す。</li> </ul>
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもにとって必要な環境や経験は何か、職員間で意見交換を行いながら、子どもも大人もTrial&amp;Errorを繰り返しながら保育をすすめてきた。子ども同士や職員を相手に対話を行うことで、時には言い合いになったり、意見がぶつかったりすることもあったが、自分を認め、他人を認めることができるようになってきている。来年度も引き続きこうした環境を作って行き、他との違いを認め、その違いを楽しみ、受け入れることができるように育んでいく。</li> <li>日課については、子どもたちが自ら意味をもって日課を遂行するまで到達していなかったため、今後は、さらに子どもたちが考えて、学びあえる環境を整えていく。</li> </ul>

### 〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	「地域で選ばれる保育園」として保育という仕事に誇りと責任を持った職員集団になるために大人のにんげん力を向上する。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者としての専門性を高めるために園長大学<sup>®</sup>・保育士大学等を各自が月1回以上受講する。また、施設長が率先して学ぶ姿とそこで学んだことをアウトプットすることでより学ぶことの意義を伝えていく。</li> <li>園見学の連絡や地域でお会いした家庭に積極的に園を知っていただけるように保育体験を実施する。</li> </ul>
2025年度	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人の保育方針が理解され、子ども主体の保育が確立する。</li> <li>子ども、保護者、地域の方々に愛される施設となる。</li> </ul>
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもがどこに行っても温かい雰囲気に入れられ、安心して遊びこめる場所が保障されている。保育者も様々な経験を重ね自信につながり、活気溢れる保育園となる。</li> </ul>

2026年度	目指す姿	地域に開かれた保育園として、コミュニティの中心的存在になる。
	重点施策	保育者として誇りを持ち、地域同士をつなぎ、まちぐるみで保育が豊かになるように働きかける役割となる。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：まめどくれっしゅ 施設長 寺井奈穂美